

上島の文芸

水曜会【弓削】

家の中ばかりの生活夏隣る

花筵はなむしろにも招かれて島遍路

花一枝活けたる部屋の明るくて

ハイハイと返事明るき入園児

鞆しゅうせん(ぶらんこ)を漕ぐ子の夢に夢重ぬ

亀島 一美

田坂 紫苑

田坂 美代子

中本 砂恵子

中脇 幸造

生名短歌会【生名】

北向きのわが寢室四畳半は陽はあたらねど落つける場所

たつぷりと雨を吸いたる黒土に蒨葎ホウレン草の芽が揃いて並ぶ

八十路過ぎ鈍き動きを戒めつも片付かぬ部屋を見るは悔しき

生名島朝市出来てにぎわしく島にとれたる魚買いたる

帰ったかと鴉は叫びウグイスは待っていたよと声調える

村上 宗子

村上 司

村上 昌

渡辺 スズ子

池本 滝子

一人見る庭の桜よ目に痛し花時の雨にほろほろ散れる

花冷えの宵を足早ウォーキングに昇る望月海辺を照らす

花時のいつ終りしか仰ぎみる行年一歳の墓に詣でて

金茶色のうぶ毛かがやく掘りたての筍の皮わくわくと剥く

寒き日に友を訪ねし昼下がりに注ぎくるる茶の湯気に包まる

大荒れの春嵐去り待ち侘びし寺苑の桜今朝ほころぶぬ

師長さん看護師さんに囲まれて母は誕生日の祝福受くる

古希迎へ友垣集ひ桜植うる積善山に記念碑も建て

鶯の鳴き声聞きつつ畑仕事萎れし野菜に穀雨降り初む

亡き妻を真似て作りし味噌汁を孫は「ばあちゃんのが旨かったよ」

花好きで手先の器用な叔母の逝く穏やかな人と皆に慕はれ

濱田 イセ子

村上 優美子

池田 友幸

むつみ歌会【岩城】

宮本 佳世子

浪本 綾子

池田 繁雄

森本 和佳

浪本 三千彦

高本 雅雄

白石 勇

西本 優子

意地を張り激しく生きし兄あはれ静かに逝きぬ秋の終はりに

魚島俳歌柳会【魚島】

池本 正子

おじいちゃん今日もとれたよはずむ声
嫁の電話に生きがいおぼえ

梅が散り桜が蕾持ち初めて
デビラが終り鴉しよんぼり

おばあちゃん一尾だけよと持ちくれし
嫁のバケツの鯛の尾太し

恋はまだ現役だよと法螺を吹き
まだ若い、若いと無理し医者通い

喜寿過ぎてまだやり残すことのあり

円満の秘訣ごめんねありがとう

職退きてうれし淋しや前向きに
老いゆきて夢の中へと進む母

採って来し絹靴いためたる朝餉
今年もね土もこもこと物芽出づ

朝取りの磯牡蛎今夜の吸物に
目につきし土筆石路摘み励みたり

春一の白波が走る離島かな
今日も無事息尖花の一句添へ

三上 運

大黒 丸

三上 タキコ

佐伯 真柳

城山 太郎

久保 かすみ

しんどふじ

柳 小福

松原 瑞峰